

# 広報誌 つくし

発行日 2025年1月31日発行

第51号

## 新年のご挨拶



医療法人つくし会 理事長

南国病院 院長 中澤 宏之

早いもので令和7年が明けて1月中旬となってしまいました。地域の皆様におかれましては、穏やかな良い新年を迎えられたことと思います。昨年は、元日の能登半島地震に始まり、4月17日の豊後水道地震、8月8日の日向灘地震が続き、先日の1月13日にも再び日向灘で地震が発生するなど、高知県にとって南海トラフ地震に向けた災害対策は待たなしの状況となりました。また、昨年は医師の働き方改革への対応、診療報酬・介護報酬の厳しい改定、物価高騰による食費・医療材料費・エネルギー価格の上昇など病院経営にとっては難しい対応を迫られる1年でもありました。令和7年4月には、どの医療機関がどのような診療機能を持っているかを明らかにすることで地域の皆様が医療機関を選択しやすくなる制度、すなわち「かかりつけ医機能報告制度」が始まります。その中には、日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能以外にも、時間外診療に対応できるかどうか、入退院時の支援をどれだけ行っているか、在宅医療を行っているか、介護サービスと連携しているかどうか、当院以外の医療機関とどのように連携しているかなどを報告することになり、当院の診療機能に応じて可能な限り対応していきたいと思っています。

1月16日に、消化器内科が専門の中城一男先生が当院内科部長として着任しました。特に内視鏡診断・治療のスペシャリストであり、これまでも沢山の地域の患者様を診療してきた信頼の厚い先生です。中城先生の就任により当院の内科機能が更に強化され、まさに地域の皆様に対するかかりつけ医の機能だけでなく、消化器内科の専門的医療がしっかり果たせるのではないかと期待しています。高知県からの委託を受け、令和6年度から「精神障害者アウトリーチ推進事業」を始めていますが、精神障害を持ちながら未治療の方、治療が中断した方などを受診につなげ、地域生活が維持できるよう当院の多職種チームで支援しています。少しずつ実績を積み重ねており行政の皆様からも評価を頂いていますが、令和7年度も継続して取り組みたいと思います。当院の在宅医療支援体制としては、通所リハビリ、訪問看護、訪問リハビリ、精神科デイケアがありますが、要介護状態の方、障害を持つ方の運動機能、生活能力を維持・向上させるために日常生活を多方面から支援する取り組みを行っています。これからは在宅療養のニーズが増加することが予測されますので、障害の種類や程度に関わらずお気軽にご相談下さい。

この4月で開院56年を迎える南国病院が、新たなステージに入ることを喜ぶとともに、これからも地域の皆様にとってなくてはならない病院としてお役に立てるよう、職員一同努力してまいります。最後になりましたが、令和7年が皆様にとって健康で実りの多い一年となることをお祈りいたします。

この4月で開院56年を迎える南国病院が、新たなステージに入ることを喜ぶとともに、これからも地域の皆様にとってなくてはならない病院としてお役に立てるよう、職員一同努力してまいります。最後になりましたが、令和7年が皆様にとって健康で実りの多い一年となることをお祈りいたします。

この4月で開院56年を迎える南国病院が、新たなステージに入ることを喜ぶとともに、これからも地域の皆様にとってなくてはならない病院としてお役に立てるよう、職員一同努力してまいります。最後になりましたが、令和7年が皆様にとって健康で実りの多い一年となることをお祈りいたします。

この4月で開院56年を迎える南国病院が、新たなステージに入ることを喜ぶとともに、これからも地域の皆様にとってなくてはならない病院としてお役に立てるよう、職員一同努力してまいります。最後になりましたが、令和7年が皆様にとって健康で実りの多い一年となることをお祈りいたします。

### 目次

中城先生からのご挨拶	2
地域オープンセミナー	2
全日本病院学会in京都	4
日本難病医療ネットワーク学会学術集会	5
医療の質・安全学会学術集会	5
神経難病医療従事者研修	6
入院患者満足度調査の結果報告	7
精神科デイケア活動報告	8
職員旅行	10
診療のご案内	12

ご 挨拶

南国病院 内科部長 中城 一男

はじめまして。1月から南国病院内科部長に就任しました中城です。専門領域は消化器内科、特に胃大腸内視鏡検査、治療で、これまで数万人の検査治療に従事してきました。南国病院就任にあたり新たに内視鏡室、リカバリー室を整備していただき、また内視鏡、腹部超音波も最新式を入れていただきました。私のモットーは、「たかが検査で苦しい思いをさせない」と「分かるまで説明する」です。これまでの胃、大腸内視鏡検査でしんどい思いをしたことがある方でも是非怖がらずに受けてみて下さい。多分こんなに楽なんだと思っていただけたらと思います。これからも微力ではありますが地域医療に貢献していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



医療法人つくし会 南国病院 第8回 地域オープンセミナー

2024.11.30(土)

南国病院 在宅医療支援センター・センターホール

学術研修委員会委員長

副院長・精神科部長 玉元 徹

今回の地域オープンセミナーは、時期的に忙しい時であったためか、予定された観客の人数が思ったよりも伸びずにヒヤヒヤしていましたが、最終的には何十人も集まっていたので助かりました。お集まりいただいた方々に感謝申し上げます。

高知赤十字病院のDMATリーダーの山崎浩史先生は、石川県における救護活動についての苦勞などに加えて、南国市の今後の被災予想なども盛り込んでいただき地域の方々にとってとても重要な示唆をいただいたと思います。ありがとうございました。

同じく高知赤十字病院の四国こころのケアチームメンバーの濱田多得先生は、石川県の救護活動において精神面の支援について苦勞なされたことをご発表いただきました。その中で最も重要であったことは、被災したの方々にとって日頃の隣近所



の人々とのつながりがいかに被災後の生活に有益なものをもたらすかということでした。近所の人との関わりは、苦手な人も多いと思いますが、災害にかかわらずいろいろな事件事故の際にも助け合うためには重要なこととなりますので、そのことを再認識した次第です。ありがとうございました。

来年度は、10月～11月の早い時期に地域オープンセミナーを企画していこうと考えておりますので、みなさんご期待ください。



### 講演 I

#### 能登半島地震における医療救護活動を経験して 思うこと

高知赤十字病院 DMATリーダー  
検査部長 山崎浩史 先生

#### 【 医療職の方からのご意見・ご感想 】

- 現場の声を聞いて、実際南海トラフ地震が起きた時に、自分に何が出来るか考え込んでしまいました。また、いろいろな学びを重ね、まずは生き残ること、周りを支えること、何をしていくのか答えを探していきます。

#### 【 行政の方からのご意見・ご感想 】

- 南国市ではどうかというお話も伺えて良かったです。細かく活動内容を伺えました。南国市での活動にも生かしたいです。
- 電気やインターネット回線は繋がらないだろうと思っていたので、場所によっては繋がるということを知り驚いた。液状化の怖さを改めて知ることができた。大きな避難所は近所付き合いもなく、高齢者が孤立してしまうことが分かった。小さな避難所の方が知り合いも多く、安心される方が多いと知ることができた。せっかくの物資が上手く活用されていないのは、勿体ないと感じました。

#### 【 個人の方からのご意見・ご感想 】

- 避難されている方が安心される(心を開いてくれる)ような声掛けについて、教えていただけて、大変参考になりました。今住んでいるところは、市外から移り住んで来たところ(15年くらい前に高知市在)なので、隣近所との付き合いがまだ濃くないですが、もう少し話しができるようにしたいと思いました。



### 講演 II

#### 能登半島地震こころのケア活動で感じた地域の力 ～自助・共助の重要性～

高知赤十字病院 四国こころのケアチームメンバー  
病棟看護師長 濱田多得 先生

#### 【 南国病院職員からの意見・感想 】

- 実際に活動された先生お二人の話を伺え、非常に参考になりました。山崎先生のお話の中では、南海トラフ地震が実際に起こった時、「死なない・大怪我をしない・閉じ込められない」ための工夫を考えていかないといけないと痛感しています。濱田先生のお話では、保健師さんのサポートのお話を伺い、自分自身も南海トラフ地震が起きた時、助ける人でもありたいし、助けが必要である時は素直に「助けて」と言えるようにメンタルヘルスを考え、自分をサポートしていきたいと思います。本当にありがとうございました。
- 被災時の詳しい状況を、具体的に知ることができてとても参考になりました。水の重要性を再認識することができ、備えを見直していきたいと思いました。地域の力、ご近所様との関わりや繋がりが、いかに大切になってくるかを痛感しました。



## 第65回 全日本病院学会in京都

2024.9.28(土)～29(日)

国立京都国際会館

「地域医療構想前夜 ～ 嵐の中の航海 羅針盤を求めて～」



看護部長 小松 匡輔

9月28日(土)29日(日)と第65回全日本病院学会in京都に参加させていただきました。場所は国立京都国際会館で会場は大きく1つの建物の中で複数のブースがあり移動もスムーズで快適でした。

今回、全日本病院学会のテーマは「地域医療構想」ということで、国は2025年を見据えて始まった地域医療構

想に取り組んでいますが、新たな地域医療構想策定も始まっています。昨今の物価高騰や、人員不足、医療DXへの対応など医療を取り巻く環境が非常に厳しくなっています。そのため自院の舵取りをどのようにすればいいか少しでもヒントがあればという思いで参加させていただきました。

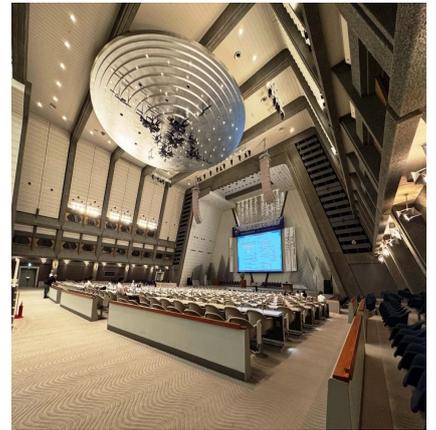
全日本病院学会とあって医療業界全体の多岐にわたる内容で、どれを聞くか迷うことが多かったです。興味深いと思った演題の「看護部の魅力を伝えるSNSを活用したリクレーティング」ではWebマーケティングアドバイザーを迎え入れて、インスタグラムで視覚的に病院の良さを伝えることで入職希望者の増加に繋がったそうです。例としては「ある看護師の日勤業務」や「休憩時の食事風景」「カンファレンスの様子」などイン



スタグラムにアップしたそうです。アップする内容も看護部で発信したいことを制限してしまうかもしれないので病院長はチェックせずに看護部長のみのチェックだったとのことでした。入職したスタッフに、「入職前にインスタグラムを見たか？」の質問に7割が見たと回答で、見て良さそうなので入職した人が多かったとのことでした。

今後、少子化や新人は都会に出ていくため看護師の確保がどんどん難しくなっていきます。そのためICTを活用し看護師確保に努めていく必要があります。自病院もなかなか看護師が得られない状況なので考えていく必要があると思いました。

この学会に参加して今の医療業界が抱えている問題や、解決に向けてさまざまな視点を得ることができました。



今回、学会1日目の夜には清水寺特別拝観がありライトアップされた清水寺を拝観できました。京都に浮かび上がる清水寺は美しかったです。また、伏見稲荷も参拝し、いいリフレッシュとなりました。学会に参加させていただき、ありがとうございました。



## 第12回 日本難病医療ネットワーク学会学術集会

2024.10.25(金)～26(土)

弘前文化センター

「難病医療の均てん化を目指して」



2病棟看護主任

田井 計行

2024年10月25日・26日に青森県弘前市で開催された第12回日本難病医療ネットワーク学会学術集会に参加させていただきました。一番印象に残った講演が「神経難病のアドバンス・ケア・プランニング(ACP)」

でした。以前、当院の神経難病医療従事者研修にて研修生の方が患者さんのACPについて質問されていて、私はACPを知らなかったので会場内の様々ある講演の中から選び、拝聴させていただきました。人生の最終段階における医療・ケアに

ついて前もって考え、家族や医療・ケアチーム等と繰り返し話し合い、共有する取組を「人生会議」、アドバンス・ケア・プランニングと呼ぶそうです。講師の方は将来の心づもりともおっしゃっていました。講演ではALSの患者さんを事例にあげられていました。先の予後予測が難しい中、自然に死にたい苦しみたくない等の苦悩を患者さんは常に抱えられているとことです。患者さんがいよいよ決断を迫られる状態になる前までに少しずつ今後について情報を説明し、メリット・デメリットも含めて伝え、患者さんの意思をあえて揺さぶることもあるとの言葉が印象的でした。ACPIは経過のどの段階においても患者さん本人のQOL、意思決定が常に中心にないと成り立たないものだと感じました。その他の拝聴した講演も含め、今回の出張で色々と学ばせていただきました。ありがとうございました。

## 第19回 医療の質・安全学会学術集会

2024.11.29(金)～30(土)

パシフィコ横浜 ノース

「学びを続ける。～The Power of Sustainable Learning～」

3病棟看護師 原 桃香

今回初めて、横浜で開催された、医療の質・安全学会学術集会に参加させて頂きました。当院からは、医師1名、看護師4名の計5名での参加となりました。二日間にわたり、様々な講演を聞くことができ、医療の安全性について、学びをより深めることができました。その中でも、特に印象に残っている講演は、医療安全を考慮した睡眠薬の適正使用についてです。睡眠薬と関連した医療安全問題としては、せん妄、転倒転落、離脱症状などが挙げられ、特に高齢者や認知機能が低下している患者様では、これらのリスクが高まるため注意が必要だと考えます。日々の看護で患者様の睡眠状況を観察し、患者様の話を傾聴しつつ、安全安楽な入院生活を送ることができるよう、薬剤の適正使用を目指す必要があると改めて考えました。



その他にも、様々な講演を聞くことができ、とても有意義な研修となりました。

患者ファーストを念頭に、今後も安全性に考慮した看護を提供できるよう、日々の看護に取り組んでいきたいと思えます。

## 神経難病医療従事者研修に携わって

2024.11.18(月)~19(火) 6名 2024.12.16(月)~17(火) 7名

主催：高知県健康政策部健康対策課

### 3病棟看護師 西田 真衣

神経難病病棟に配属になり4年目を迎え、神経難病医療従事者研修の担当をさせて頂きました。難病についての知識が充分とはいえない私が担当してもいいのだろうかと不安だらけのスタートでした。

今回の研修生は訪問看護師さんが多く、私の中で訪問看護に携わる方は知識や経験が豊富なイメージがあり、神経難病病棟として、何を学んで頂く事ができるのかと直前まで悩んでいました。

研修当日は、研修生の難病に対するイメージや実際の業務で困っている事を伺いながら、当院での対応を見て頂きました。研修生からは、「神経難病が進行した状態を知る事ができ、在宅で質問される今後の姿がイメージできた」「在宅ではできない病院療養のメリットを知ることができた」、「寝たきり患者さんの身体がきれい」「呼吸器やCVの方も入浴しているのには驚いた」と反応を頂き、普段行なっている看護やケアを今後でも継続していきたいと感じました。

多職種の講義では、身体の動かし方、意思伝達装置の種類や選択方法、食形態の違いや嚥下障害の疑似体験がありました。私自身、リハビリスタッフからの講義は技術の変化に驚くことが多く、研修生と共に学ばせて頂き今後の業務に活かしたいです。臨床工学技士による人工呼吸器の説明は、「苦手意識が無くなった」と好評でした。

研修生との意見交換の中で、在宅療養にはマンパワーはも



ちろん、社会的資源や費用面での問題も多く、進行性の疾患である事から家族様の不安もあり、在宅療養が困難になるケースがあると知りました。今までは、在宅＝幸せのイメージが



あり、在宅復帰をすすめて行かなければいけないという考えでしたが、これからは在宅や病院といった場所にとらわれず、患者様が快適に、充実感のある日々を送って頂けるよう、自己研鑽を重ねて行きたいと思いました。



## 入院患者満足度調査の結果報告

2024.5.10(金)～2024.6.25(火)実施

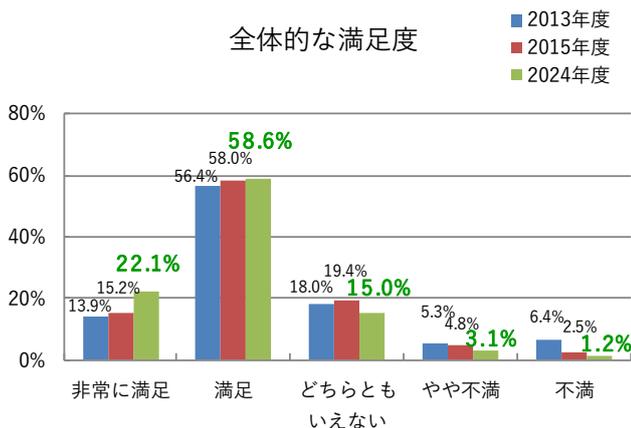
### 3病棟看護師長 岡本 めぐみ

今後のよりよい病院運営の参考にさせて頂き、患者様に対するサービスの充実に努める目的で南国病院入院患者満足度調査を2024年5月10日～同年6月25日まで行いました。アンケートは100枚配布し、回収率100%でした。

今回の調査により、当施設の医療サービスについて、多くの患者様・ご家族様から温かいお声をいただきました。特に職員の対応や身だしなみに関しては90%以上の患者様が「非常に満足」または「満足」と回答しており、私たちの日々の努力が患者様に届いている証だと感じています。また、全体的な満足度も80.7%の患者様から「非常に満足」「満足」という評価を頂きました。「やや不満」または「不満」の割合は4.3%に留まっており、十年間で着実に減少している点も前向きに捉えています。

一方で課題も明確になりました。面会時間については「面会時間をもう少し長く希望します」「面会時間を早い時間帯と遅い時間帯を設けてほしい」といったご意見が寄せられ、本調査結果も「非常に満足」「満足」が52%に留まっています。当施設では感染症の流行状況に応じて面会ルールを調整していますが、患者様やご家族のご要望を踏まえ、患者様の安全を最優先に考えた上で、時間帯の工夫や特別な事情に応じた柔軟な対応を進めていきたいと考えています。また「看護師さんの名前を見えるように付けてほしい」という具体的なご提案も頂きました。この意見を重く受け止め、名札の着用位置や表示の工夫を通じて、患者様がスタッフをより身近に感じられる

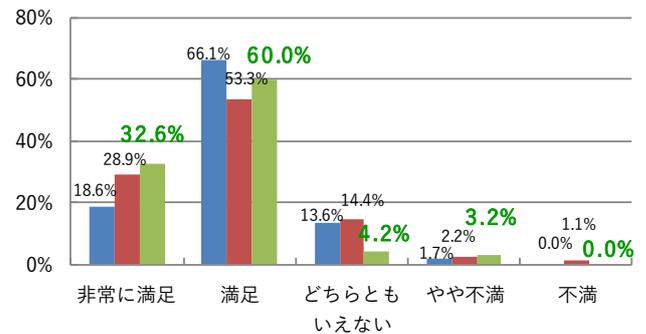
全体的な満足度



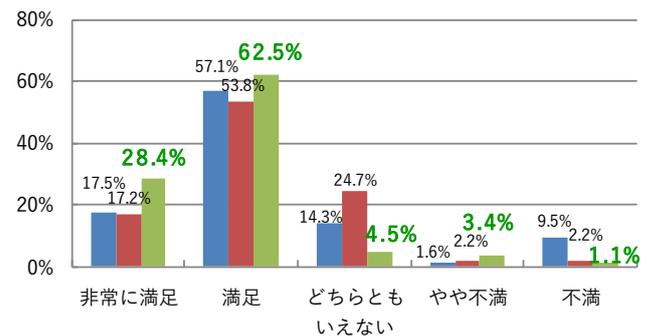
よう努めます。

今回の調査結果は、当施設の現状を知り、改善すべき点を見直す大切な機会となりました。高く評価いただいた部分は引き続き伸ばしつつ、課題には迅速に対応し、患者様ひとりひとりが「この施設を選んでよかった」と感じていただけるよう、全職員が一丸となって改善に取り組み、よりよい医療環境の提供を目指し努力してまいります。

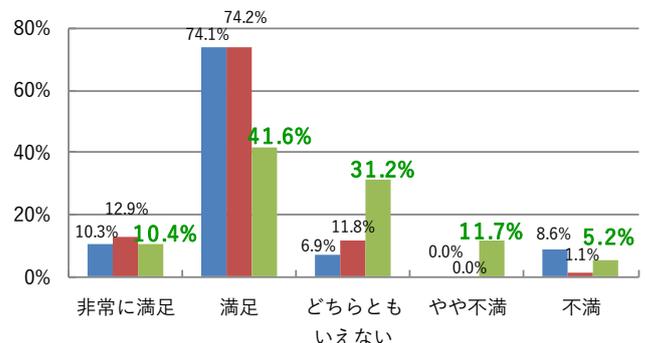
入院受付をした職員の対応(言葉づかい・態度)、身だしなみはいかがでしたか？



職員は接しやすい雰囲気ですか？



面会時間はいかがですか？



## 第28回 スピリットアート(高知県障害者美術展)

高知県立美術館

2024.10.11(金)～10.21(月)

主催:高知県障害者美術展実行委員会・高知県

精神科デイケア室 作業療法士 北川 結大

デイケアでは2024年10月11日～21日まで県立美術館にて行なわれました「第28回スピリットアート(高知県障害者美術展)」に、共同作品1点、個人作品4点を展覧しました。今回の共同作品のテーマは、「出発と到着」と題し、「生命の進化の過程を表現する。」とテーマを決め、デイケア利用者で作品作りを始めました。

デイケアでは月2回アートの時間があり、外部講師の方をお招きしています。講師の先生のご指導の下、アートの時間以外にも作品作りを進めていきました。木材の土台に新聞紙を洗濯のりで貼り付け、時間の流れや季節の移り変わりを表現しました。そこに粘土で作った人間や動物、植物などを貼り付け賑やかで色とりどりの作品に仕上げました。

全員の努力も結び、入選作品に選出されることができました。また、個人作品でも2点入選され、そのうちの1点は協賛企業が作成するカレンダーのデザインの候補として選出されました。

作品の見学にも行き、展示された共同作品に喜びを感じたり、他の出展者の作品を見て楽しまれていました。

アートを通じて気分転換や自己表現の機会、集中力を養い、これからもデイケアとして続けて出展していきたいと思えます。



共同作品  
入選「 出発と到着 」



個人作品  
入選「 美人スタッフ 」

## ハロウィン仮装パーティー

2024.10.31(木)

精神科デイケア室

精神科デイケア室 看護師 永森 千恵

2024年10月31日デイケアプログラムでハロウィン仮装パーティーを行いました。メンバーさんには当日朝、全員にお菓子を渡す予定で、仮装してきた方にはお菓子2個渡せるように準備していました。職員も朝仮装して来てもらっていいですよ、と言われており、どうしようかなと思っていたら、仮装の

準備をしているメンバーさんの会話が耳に入りました。私も思い切って、当日は仮装をして出勤しました。メンバーさんも朝バッチリと仮装され、他の部署から「変わった格好をした人がいたんですよ！」と言われ、「今日はデイケアでハロウィンがあまりまして…」と説明し安心してもらいました。

また、「変な格好をして警察に捕まったらいかんろう～」とデイ

ケアに来てから着替えるメンバーさんもいました。朝からお互い見てびっくりでもあり、新鮮にも感じられました。プログラムが始まる前に、メンバーさん同士で音楽を流し、衣装を披露され盛り上げていました。パーティーでは、景品付きビンゴゲームや、○×クイズで楽しまれていました。



K・Mさんより

まあ！あの人がこんな事もできるんだ。変装をした通所者のパフォーマンスに思わず笑声も聞かれました。百均のギンギラ衣装を身に付けた女性、カセットレコーダーから流れる高校三年生の歌声と共に学生服姿の男性、職員さんの中には？歳若返った姿も。この日だけは通常のプログラムと違った雰囲気でも一日を過ごす事ができました。参加賞はクッキーが2個。来年はインスタントラーメンも付けて欲しいとの声もありました。

## 秋の交流会・ポッチャ大会

20204.11.29(金)

高知県障害者スポーツセンター

主催：高知県精神科デイケア連絡会

精神科デイケア室 精神保健福祉士 中島 孝志

高知県下のデイケア10施設25チームの参加による秋の交流会・ポッチャ大会が開催されました。

当院・デイケアにおいても日頃の室内球技のプログラムの中でポッチャがあり、メンバーさんにとっても馴染み親しまれている競技です。そして今回の大会が決定されてからは、メンバーさん同士で声を掛け合ってチームを作り、その後の練習にも熱が入っていました。

大会には、当院デイケアからは4チーム(1チーム×3名=12名)の競技者と、応援として8名のメンバーさんが参加しました。結果としては、どのチームも白熱した試合展開の中で、南国病院Dチームが3位入賞を果たしました。おめでとうございます。またA・B・Cチームも入賞は果たせず最後まで善戦していました。お疲れ様でした。応援のメンバーさんも温かい応援をありがとうございました。

3位入賞のDチームのメンバーさんより

- チームがうまくまとまって力を出せたので良かった。
- 3位ではあったけど、二人の仲間に助けられてここまでこれたと思うのでうれしかったです。
- 3位に入賞できるとは思わなかった。3位に入賞できて良かった。



職員旅行 日帰りコース

オーベルジュ土佐山 2024.8.18(日)・2024.11.23(日)

2病棟看護師 秋山 優美

私は8月に高知市土佐山にあるオーベルジュへ行くツアーに参加しました。

場所は高知市内と近場ですが、プライベートではなかなか行く機会がなかったため、このツアーに参加しようと決めました。

私をもっとも楽しみにしていたのは、このツアーの目玉ともいえるコース料理です。お料理はとてもおいしく、少量ずつで品数も多いため満足感がありました。特に土佐赤牛を使用したステーキがおいしかったです。

施設周囲は緑あふれる自然に囲まれておりリラックスできる



環境でした。施設内にある図書も充実しており、デジタルデトックスしたいときにはとても良いのではないかと思います。

コロナ禍があけて、今年ようやく職員旅行が復活しました。旅行では、スタッフ

の普段あまり見ることのできないオフの表情を垣間見ることができ、また、コミュニケーションもとることができて充実したものになりました。

私は今回、当院に入職して初めて職員旅行に参加しましたが、とても楽しかったので次回もまた参加したいです。



四国水族館とニューレオマワールド 2024.7.28(日)

地域連携・医療相談室 社会福祉士 徳橋 尚子

2020年に入職して初めて職員旅行に子どもと2人で参加させて頂きました。香川県の四国水族館とレオマワールドのコースで7月のとても天気の日でした。

たまたまなのですが、参加させて頂いた子どもと同じ保育園に通うお友達も参加していたので、6歳の子どもにとって「お友達と行ける旅行」という貴重な体験をさせて頂きました。

四国水族館では、広い施設の中をお友達と一緒にまわられてとても楽しそうでした。

レオマワールドでは、ランチバイキングの後、パークで遊ぶグループとプールで遊ぶグループに分れました。7月のよく

晴れた日でプールで遊ぶ人もたくさんいましたが、私達は園内でたっぷり遊びました。

今回の旅行の中で、我が子への大きな発見がありました。それが「うちの子はジェットコースター系が好き！」でした。身長制限があったり、性格的にとても臆病なのでスピードが出たりする乗り物は好きではないのではないかと考えていた

が、お友達に誘われて乗ったレディードコースターに大興奮！

これからどこかに旅行に行った際には、コースター系にも一緒に挑戦していこうと思った旅行でした。

貴重な体験の機会を企画実行して頂きありがとうございました。



## 道の駅「浜焼き海王」で海鮮BBQ&amp;大正市場 2024.9.22(日)

## 3病棟看護主任 川村 直喜

私は近場ではありながら、地元高知の魚介類を満喫できて尚且つ高速を使つてのアクセスがよいこのコースを選択し、参加させて頂きました。

目的地は県内！しかも中土佐町久礼・・・なんせ近い！しかも、大好物の魚介類、ましてや高価な海鮮BBQともなると参加しない手はありません。しかも僭越ながら引率責任者を賜り期待と不安を胸に現地に乗り込みました。が、あいにくの小雨・・・いや、不安は払拭されることに、なんと露天のBBQではなく屋根付きの半屋外スタイル。サザエ・ハマグリ・長太郎貝(ヒオウギ貝)等々の浜焼き、そして新鮮な鰹のたたき定食。言わずもがな、う・ま・いの言葉につきます。少しだけお酒も入りしばしの歓



談。そして上機嫌で乗り込んだ大正市場でしたが・・・

若干2名の同志を、道の駅に置き去りにしたことが発覚・・・携帯のLINEには「もしかして、出たの？」の同志の着信が・・・急遽、道の駅に引返すといったアクシデント(前代未聞の珍事)を起こしてしまいました。近場だという気のゆるみか、少量の飲酒のせいなのか、本当に2名に寂しい思いをさせました。責任者の重責を改めて思い知りました。

その後、大正市場での買い物を終え、同じ轍を踏むまいと、しっかりと点呼を済ませて無事に全員で帰院することができました。

今回、ハプニングはありましたが、楽しい美味しい旅行を提供下さった関係者の皆様に感謝致します。ありがとうございました。

## 淡路・神戸 2024.10.27(日)

## 3病棟看護師 丁野 真奈美

南国病院に入職して、初めての職員旅行。3病棟以外のスタッフさんとあまり関わりがないので、ドキドキしながら参戦！

まず一つ目の場所、道の駅くるくる鳴門。芋のオブジェ前で集合写真。いい思い出になりました。そのあと店内へ。スタッフとすれ違えば、お互い何を買っているのかカゴの中を見ての繰り返しで買い物。

二つ目の場所、たこせんべいの里。ここでも、これどこにあった？あっちにありました！のやり取り。滞在時間が短かったので、どんどんカゴに入れてたら気付けばカゴいっぱい購入。

三つ目の場所、本格中華老舗レストラン寓寿殿。中華といえば、回るテーブル。丸いテーブルをスタッフと囲み、取りたい食材が目の前を通過するたびに、ちょっと待って！と声があがり、笑い声の絶えない食事でした。

四つ目の場所、神戸三田プレミアムアウトレット。お目当てのお店に行き、散財してリフレッシュできました。

行き帰りのバスの移動時間も車内は和気藹々。南国病院のスタッフは優しく面白い方ばかりで、とても楽しい一日でした。

日々の業務でもみなさんの優しさを感じており、働きやすい職場だなといつも思います。次はみなさんと一緒に宿泊旅行に行ってみたいです。



# 診療のご案内

ホームページもご覧ください  
<http://www.nankoku-hp.or.jp/>

診療科目	◆脳神経内科 リハビリテーション科	◆精神科	休日診療	なし（但し急患は診療いたします）
	◆内科	◆消化器内科	予約診療	全科予約診療となっております
	◆放射線科		救急指定	なし
診療時間	月～金	午前 8:30 ～ 12:30 午後 1:30 ～ 5:00	健康診断	特定健診、胃がん検診(胃内視鏡検査)
	土	午前 8:30 ～ 12:30	面会時間	感染状況により、面会方法が変更になります。 詳細はホームページにてご確認ください。

診療科/曜日	月	火	水	木	金	土	
午前	脳神経内科	山崎	中澤	吉村	中澤	山崎	中澤 古谷 ※6
	精神科	藤田	石田	玉元	玉元	上村 ※7 (もの忘れ外来)	中澤 ※8
	内科 消化器内科	速瀬	速瀬	中城 麻植(啓)	速瀬	速瀬 麻植(啓)	速瀬 ※1 中城 ※2 麻植(啓) ※3
午後	脳神経内科			吉村 ※4	山崎	古谷 ※6	
	精神科	玉元 赤松	玉元	石田	河合	石田	
	内科 消化器内科	速瀬	中城 麻植(淳)	中城 麻植(淳) (禁煙外来あり)	麻植(淳)	速瀬 大西 ※5	

**備考**

※1 速瀬医師の土曜日の診察は、第1・第3土曜日です。  
 ※2 中城医師の土曜日の診察は、第2・第4土曜日です。  
 ※3 麻植(啓)医師の土曜日の診察は、第5土曜日です。  
 ※4 吉村医師の水曜日午後の診察は、第2水曜日です。  
 ※5 大西医師の診察は、第1・第3金曜日です。  
 ※6 古谷医師の診察は、連続した最終金曜日・土曜日で再診のみです。  
 ※7 上村医師(もの忘れ外来)の診察は、第2・第4金曜日です。  
 ※8 中澤医師の土曜日午前の精神科の診察は、再診のみです。

**■認定・指定**

日本神経学会准教育施設  
 日本精神神経学会精神科研修施設  
 日本老年精神医学会認定施設  
 高知県神経難病医療ネットワーク基幹協力病院  
 日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設

**南国病院 理念**

1. 安全で質の高い医療によって地域に貢献します。
2. 信頼関係に基づき暖かい医療を提供します。
3. 専門性を追求し自己研鑽に努めます。

**■病床数** 162床

46床	2病棟	特殊疾患病棟(I)
56床	3病棟	特殊疾患病棟(I)
60床	5病棟	精神一般病棟(15対1)

**基本方針**

1. 病院が地域の社会資源であるとの認識に立ち、本院の専門性を通して、地域の医療と福祉に貢献します。
2. 本院は、脳と神経及び精神の疾病や障害を主な診療対象として、その神経学的、精神医学的診断、治療と臨床的研究に努めます。
3. 個々の患者とその家族への十分な説明とそれに基づく納得の上での同意を前提として診療を行います。
4. 本院での医療行為は、科学的根拠に基づき、自由で暖かい生命倫理に立って行います。医療環境が常に清潔で、明るく保たれる様努力します。
5. 本院の職員は、常に自己の資質と医療技術の向上に努め、病める人々たちへの奉仕者としての自覚を持ちます。

**■診療実績** 2024年4月～2024年12月

外来患者数	20,463 名
(内新患者)	575 名
1日平均入院患者数	150.7 名
精神科デイケア利用者総数	3,807 名
通所リハビリテーション利用総日数	2,732 名
訪問看護ステーションおおそね訪問延人数	5,080 名

発行元/医療法人つくし会 南国病院  
 発行責任者/中澤 宏之(院長)

〒783-0004  
 高知県南国市大桶甲1479番地3  
 電話 (088) 864 - 3137 (代表)  
 F A X (088) 863 - 3070  
 (088) 802 - 8618 (地域連携・医療相談室)

